

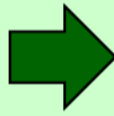
農業用水の安定確保によるマンゴーの品質向上と規模拡大

経営体の概要

事業実施前

基幹作物：(施設)マンゴー 20a

経営面積：20a



事業実施後

基幹作物：(施設)マンゴー 30a

経営面積：30a

取組の経緯と経営転換のポイント等

本経営体は、平成20年に親からマンゴー経営を受け継ぎ、新規就農(Iターン)しているが、かんがい施設が導入されていることが新規就農の必須条件であった。就農後は、独自で栽培技術を身に付け、宮古島のマンゴーコンテストでは2年連続1位を獲得するなど高い評価を得ている。

また、若手農家だけのマンゴー組合を平成23年頃に設立(現在16戸)し、栽培技術の向上に取り組むなど宮古島のマンゴー生産の発展に貢献している。

営農改善のポイント

①単収の向上

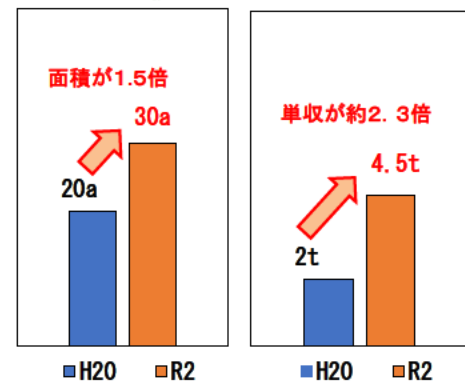
マンゴーは、2月の開花時期に十分な水を与え、乾燥を防ぐことが重要であるが、事業により必要なかん水が可能となったことから安定した収量が確保できるようになった。また、ハウスに加温装置を設置し、徹底した温度管理と品質管理を行い、10a当たりの収量は約2.3倍(2t→4.5t)に増加している。

②栽培技術の確立・向上

冬場にハウスを加温し、受粉昆虫の活動を活性化させることで、着果時期を早めている。これにより、県本土より半月程早い出荷を可能にし、高値での取引(県平均単価より100円~300円/kg)を実現させている。

③流通販路の工夫

販売は、主にインターネット及び島内の個人販売を行っている。現在、口コミで広がり固定客が付くなど、安定した販路を確保している。

マンゴーの作付面積と単収の変化
(作付面積) (10a当たり単収)

マンゴーの栽培状況(暖房機)

事業概要

事業種：国営かんがい排水事業

関係市町：宮古島市

受益面積：9,156ha

事業期間：S62~H12年度、H21年度~

事業目的：畑地かんがい、用水改良

主要工事：地下ダム2箇所

副貯水池1箇所

揚水機場1箇所

用水路 55km

位置図(沖縄県)



<局問い合わせ先>

沖縄総合事務局

農村振興課振興課

企画指導官(経済資源)

電話：098-866-1652

(令和2年調査時点)